

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	中級簿記演習 (Intermediate Bookkeeping Seminar) 2037355-112					担当教員	喬 雪氷 (キョウ セツヒョウ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位数	2	配当年次	1～4 年次	開講期	前期
科目特性	資格対応科目 / 知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
本講義は簿記の初級知識を基礎として、さらに商業簿記の高度な内容を学習する科目である。株式会社の個々の経済活動の会計処理方法を理解し、財務諸表の作成プロセスを修得する。さらに、日商簿記検定試験2級レベルまで到達することを目標とする。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
必ず下記のテキストを持参して授業に参加すること。毎回、テーマごとに演習ポイントを解説してから、演習問題を解いてもらう。個別に質問も対応する。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「簿記入門1」「簿記入門2」を履修すること、もしくは日商簿記検定試験3級合格程度。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 簿記2級程度に関する仕訳全般を理解する (ii) 仕訳帳から精算表までの手続きを身に付ける (iii) 財務諸表の作成プロセスを理解する									
⑥ テキスト (教科書)									
『合格トレーニング 日商簿記2級 商業簿記 Ver15.0』 TAC 出版 2021年3月									
⑦ 参考図書・指定図書									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	40%		60%					100%

(i)簿記 2級程度に関する 仕訳全般を理解する	20%		20%					40%
(ii) 仕訳帳から精算表ま での手続きを身に付ける	10%		20%					30%
(iii) 財務諸表の作成プ ロセスを理解する	10%		20%					30%
フィードバックの方法	成績の評価は毎回の演習問題に対する理解度の総合評価で行う。授業内では演習問題を解説し、学習内容を再確認する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
簿記はビジネスの世界で教養知識として重要視される。中級簿記の知識があれば、経理業務ができる人材として評価が得ることができし、会社の経営状況を把握することもできる。企業人として活躍する糧となるこれらの知識を身に付けましょう。	

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	テーマ 00 簿記一巡の手続き 01 財務諸表、02 商品売買	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
2	テーマ 03 現金および預金	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
3	テーマ 03 現金および預金	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
4	テーマ 04 債権・債務	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
5	テーマ 05 有価証券	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
6	テーマ 06、07 有形固定資産	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
7	テーマ 08 リース取引	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
8	テーマ 09、10 無形固定資産、引当金	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
9	テーマ 11 外貨換算会計	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
10	テーマ 12、13 税金と税効果会計	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分

11	テーマ 14、15 株式の発行、剰余金の配当と処分	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
12	テーマ 16 決算の手続き	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
13	テーマ 20、21 連結会計Ⅰ、Ⅱ	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
14	テーマ 22 連結会計Ⅲ	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分
15	テーマ 23 連結会計Ⅳ	筆記用具、 電卓	演習問題を復習する	60分

⑪ アクティブラーニングについて
講義では、演習ポイントと解き方を説明しながら、演習問題を完成させ、理解を深めるようにする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性